

《総説》

甲状腺・副甲状腺核医学

池 窪 勝 治*

要旨 甲状腺・副甲状腺疾患の核医学診断と甲状腺分化癌に対する¹³¹I療法の基礎知識につき解説した。主要な甲状腺・副甲状腺シンチグラム，腫瘍シンチグラムおよび副甲状腺機能亢進症に特徴的な骨シンチグラムを示した。^{99m}Tc-HSA-D/^{99m}Tc-MIBI SPECT合成像は異所性副甲状腺腺腫の局在診断に有用であった。きわめて興味深い稀な甲状腺癌の3症例を呈示した。第一例は微小乳頭癌のリンパ節・肺転移例で^{99m}TcO₄⁻がリンパ節病巣へ集積した。第二例は濾胞癌骨転移による甲状腺中毒症でTSHレセプター抗体陽性例である。第三例は乳頭癌の¹³¹I治療後スキャンで心プールの描出を認めた。

(核医学 38: 669-680, 2001)